

# ニュース高等専修

文部科学省委託事業／高等専修学校産学官連携コンソーシアム・職域プロジェクト

## 25 年度成果報告会開く 来年度も高専の存在感示す事業に



年度も総力戦で我々の存在意義をこの事業で示していきたい」と力強くあいさつしました。

また文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の倉本光正室長補佐があいさつ。倉本室長補佐は、26年度の中核的専門人材育成事業が前年度より約5億8千万円増額したことを報告した上で、「本事業は今年度からスタートしたということで、今年度の実施内容、実績を踏まえた形でより具体的な教育プログラムを開発していただくという段階にあり、今後のより良い成果に期待している」と述べました。

平成25年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」／『高等専修学校における高等教育機関と接続したモデル・カリキュラム開発と就労支援システムの構築』（代表校＝大岡学園高等専修学校）の産学官連携コンソーシアム・職域プロジェクト成果報告会が2月24日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれました。

報告会に先立って、全国高等専修学校協会の清水信一会長が「今まさに高等専修学校の存在感を自ら切磋琢磨してアピールすることが求められている」と述べた上で「本事業は高等専修学校の存在感を示す重要な事業であり、この一年間、本協会が丸一となって総力戦で対応してきた。本日の報告会を踏まえて、次年度への方向性、課題等も明らかになってくると思う。次

年度も総力戦で我々の存在意義をこの事業で示していきたい」と力強くあいさつしました。

続いて大岡豊プロジェクト主幹がコンソーシアムの概要や実施内容を報告、今年度の成果を踏まえて来年度の方針や課題について詳しく説明しました。

コンソーシアム調査研究分科会コーディネイト・長尾博暢鳥取大学キャリアセンター長が「高等専修学校におけるインターンシップ及びデュアルシステムに関する調査」の内容を報告したあと、各職域プロジェクトの代表校から事業成果報告が行われました。

▽IT分野（近畿情報高等専修学校、報告者＝長谷川明弘氏）▽自動車分野（大阪技能専門

学校、報告者＝三浦慎也氏）▽調理衛生分野（大育高等専修学校、報告者＝石川正剛氏）▽服飾分野（細谷高等専修学校、報告者＝細谷祥之氏）▽福祉分野（大岡学園高等専修学校、報告者＝折戸宏次氏）

以上、各職域代表校からの成果報告のあと、専修学校教育振興室の倉本室長補佐が講評で「当初、作られた成果目標を踏まえて、新しく見えてきた課題もいくつかあり、来年度は新たな課題に取り組む一方で、26年度は地域版を視野に入れて取り組んでいただきたい」と述べました。

次に委託事業の概要は次の通りです。

▽職域＝◇介護（代表校＝大岡学園高等専修学校）事業名：高等専修学校における介護福祉人材養成のための産学官連携による実践的な職業教育の構築◇服飾（代表校＝細谷高等専修学校）事業名：服飾系高等専修学校における産学官連携による実践的な職業教育アドバンスド・コースの研究・開発◇調理（代表校＝大育高等専修学校）事業名：高等専修学校による料理人材養成のための産学官連携による実践的な職業教育の構築◇自動車整備（代表校＝大阪技能専門学校）事業名：高等専修学校における自動車整備士養成のための産学官連携による実践的な職業教育の構築◇IT（代表校＝近畿情報高等専修学校）事業名：高等専修学校におけるIT人材育成のための高等教育機関との接続による実践的職業教育プログラムの構築

## 高等学校等就学支援金 平成26年4月から制度が変わります

高等学校等就学支援金は、授業料に充てるための就学支援金を支給することにより、高等学校・高等専修学校における教育に係る経済的負担の軽減を図り、もって教育の実質的な機会均等に寄与することを目的として平成22年度より実施されております。

ただ、4月から以下の点が変更されます。

●新制度では、国公私立を問わず、高校・高等専修学校の授業料の支援として「市町村民税所得割額」が30万4,200円（年収910万円程度）未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。

国公私立を問わず「市町村民税所得割額」が30万4,200円（年収910万円程度）以上の世帯では、授業料をご負担いただくこととなります。

●公立高校と私立高校・高等専修学校に通う生徒の間では教育費負担が依然として大きいなどの課題がありましたが、新制度では、私立学校に通う生徒について、就学支援金の加算をこれまで以上に拡充するな

ど、家庭の経済状況にかかわらず生徒本人の希望に沿った進路選択ができるようになります。「市町村民税所得割額」が以下に該当する私立高校・高等専修学校等の世帯の方には、就学支援金の加算があります。

0円（非課税）： 年収250万円未満程度	2.5倍加算 （これまででは2倍加算）
～5万1300円未満： 年収250～350万円程度	2倍加算 （これまででは1.5倍加算）
～15万4500円未満： 年収350～590万円程度	1.5倍加算 （これまででは加算なし）

●新制度は、平成26年4月以降に入学する方が対象です。平成25年度までに在学されている方は、旧制度が適用されます。



(上から順に)開会式であいさつする全国高等専修学校協会・清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会・堀居英治理事長、自由民主党・赤池誠章参議院議員、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室・倉本光正室長補佐

## 第23回全国高等専修学校体育大会 10競技38種目で熱戦繰り広げる

高等専修学校生のスポーツの祭典「第23回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、特定非営利活動法人NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益財団法人J K A、専門学校新聞社後援)が7月22日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

このスポーツの祭典は平成3年、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などを目的に4競技でスタート。回を重ねるごとに参加選手、競技種目も増え、平成15年から公益財団法人J K Aによる「競輪公益資金」の補助を受けて盛大に開催しています。

大会には福島、東京、大阪、兵庫など8都府県20校の選手が参加。軟式野球、バレーボール、バスケットボール、陸上競技、自転車競技など10競技38種目で熱戦が繰り広げられました。

今年世界文化遺産に登録された富士山の北麓公園体育館で開かれた開会式には、大会役員や選手ら約800人が出席。主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長は、「マスコミ等で皆さんも知っている通り、富士山は世界文化遺産に登録されました。この文化遺産の麓で全国の仲間が集えることに大きな喜びを感じるとともに、裏方として大会を支えている体育振興委員会の先生方にも感謝してほしい」と述べた上で「皆さんは参加するだけでなく、感謝の気持ちを持ち、全国から集まった多くの



仲間と友情の輪を広げてほしい。世界文化遺産となった富士山での開催が、いつまでも記憶に残る大会になることを祈念します」とあいさつしました。

またNPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長は「例年3泊4日で開催していますが、今年は他の大会との関係上2泊3日で行うことになりました。大会の運営は多くのボランティアの先生方に支えられています。来賓や大会関係者、保護者ら一人ひとりに感謝の気持ちを伝えましょう」と呼びかけたあと、全員で「宜しくお願いいたします」と大きな声であいさつを交わしました。

開会式には来賓として、自由民主党の赤池誠章参議院議員、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室の倉本光正室長補佐、富士河口湖町の渡邊凱保町長が出席しました。

前日の参議院選で当選した赤池議員は「私がこの富士北麓公園で開催されるひとつのきっかけを作らせていただいたことから、この大会には思い入れがあります。皆さんは日ごろ鍛え

た練習の成果を存分に発揮され、怪我のないように頑張っていたと思います」と選手を激励しました。

また倉本室長補佐は「大会に参加できる喜び、これまで応援してくれた家族、熱心に指導していただいた先生方への感謝の心を忘れずに、若者らしく元気で爽やかなプレーを期待しています」と圓入由美室長の祝辞を代読しました。

これに答えて、近畿情報高等専修学校(大阪府)の多田優希選手、生蘭高等専修学校(神奈川県)の加納怜奈選手が「富士の気品に満ちた姿のようなマナーある行動を通し、精一杯プレーします」と力強く選手宣誓を行い、各種目で熱い戦いが展開されました。

熱戦が繰り広げられた大会では、大竹高等専修学校(東京)が男女自転車競技、女子バレーボール、同駅伝競走、男子バスケットボール、スポーツ吹矢団体の6種目を制したほか、大和商業高等専修学校(神奈川)が軟式野球、フットサル、男子バドミントンの3種目、生蘭高等専修学校(東京)が男子バレーボール、陸上女子400mリレー、町田調理師専門学校高等課程が男子卓球団体、女子バドミントンでそれぞれ優勝しました。また、専門学校野田鎌田学園高等課程(千葉)が女子バスケットボールで連覇を果たしたほか、近畿情報高等専修学校の山崎翼選手(男子の部)、生蘭高等専修学校の石川祐奈選手(女子の部)が陸上競技100、200、400mで3冠を達成するなど健闘しました。

なお、各種目の準優勝チームには専門学校新聞社から準優勝トロフィーが贈呈されました。



## 成績結果

### ■軟式野球

①大和商業高等専修学校②町田調理師専門学校高等課程

### ■バレーボール

【男子】①生蘭高等専修学校②日本芸術高等学園

【女子】①大竹高等専修学校②大和商業高等専修学校

### ■バスケットボール

【男子】①大竹高等専修学校②ヨコスカ調理師専門学校高等課程③町田調理師専門学校高等課程

【女子】①専門学校野田鎌田学園高等課程②大竹高等専修学校③日本芸術高等学園

### ■卓球

【男子】▼団体①町田調理師専門学校高等課程②郡山学院高等専修学校

▼個人①佐藤隼人(町田調理師専門学校高等課程)②田中大樹(大和商業高等専修学校)③环智之(生蘭高等専修学校)向平健(同)

【女子】▼団体①郡山学院高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①上野奈央(郡山学院高等専修学校)②荒井佑実(生蘭高等専修学校)③酒向美海(同)足立優楓(大岡学園高等専修学校)

### ■フットサル

①大和商業高等専修学校②大竹高等専修学校

### ■自転車

【男子】▼団体①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校③専修学校中部国際自動車大学校高等課程

▼個人①喜渡良彦(大竹高等専修学校)②赤塚直也(生蘭高等専修学校)③永井義久(大竹高等専修学校)

【女子】▼団体①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①中村光栄(大竹高等専修学校)②内藤彩香(同)③野村美綺(生蘭高等専修学校)

### ■バドミントン

【男子】▼団体①大和商業高等専修学校②町田調理師専門

学校高等課程

▼個人①伊東瞭一(町田調理師専門学校高等課程)②須田真斗(大和商業高等専修学校)③和方翔(町田調理師専門学校高等課程)中島清登(大和商業高等専修学校)

【女子】▼団体①町田調理師専門学校高等課程②生蘭高等専修学校

▼個人①井口貴恵(笹田学園高等課程)②榎原夏江(生蘭高等専修学校)③駒崎歩(町田調理師専門学校高等課程)大野成美(今泉女子専門学校高等課程)

### ■スポーツ吹矢

▼団体①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校③武蔵野東技能高等専修学校

▼個人①浦上裕太(大竹高等専修学校)②元木久(武蔵野東技能高等専修学校)③池田悠真(生蘭高等専修学校)

### ■駅伝競走

【男子】①武蔵野東技能高等専修学校②大竹高等専修学校③生蘭高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校

### ■陸上

#### ▼種目別成績結果

【男子】▽100<sup>㉚</sup>決勝=①山崎翼(近畿情報高等専修学校)②井上真(専門学校野田鎌田学園高等課程)③出水智貴(近畿情報高等専修学校)

▽200<sup>㉚</sup>決勝=①山崎翼(近畿情報高等専修学校)②井上真(専門学校野田鎌田学園高等課程)③出水智貴(近畿情報高等専修学校)

▽400<sup>㉚</sup>決勝=①山崎翼(近畿情報高等専修学校)②前田智哉(同)③小林貴大(郡山学院高等専修学校)

▽800<sup>㉚</sup>決勝=①前田智哉(近畿情報高等専修学校)②千原健太(同)③小林貴大(郡山学院高等専修学校)

▽1500<sup>㉚</sup>決勝=①湯浅達也(武蔵野東技能高等

専修学校)②二村直樹(生蘭高等専修学校)③新田崇文(郡山学院高等専修学校)

▽5000<sup>㉚</sup>決勝=①湯浅達也(武蔵野東技能高等専修学校)②二村直樹(生蘭高等専修学校)③古川翔太(郡山学院高等専修学校)

▽4×100<sup>㉚</sup>リレー決勝=①近畿情報高等専修学校②生蘭高等専修学校③大竹高等専修学校

▽走り高跳び=①南部翔輝(大和商業高等専修学校)②石川里央(専門学校野田鎌田学園高等課程)③出水智貴(近畿情報高等専修学校)

▽走り幅跳び=①南部翔輝(大和商業高等専修学校)②飯塚翔太(専門学校野田鎌田学園高等課程)③井上真(同)

▽砲丸投げ=①喜渡良彦(大竹高等専修学校)②赤塚直也(生蘭高等専修学校)③福島太郎(近畿情報高等専修学校)

【女子】▽100<sup>㉚</sup>決勝=①石川祐奈(生蘭高等専修学校)②山本珠里華(大竹高等専修学校)③本田愛(大和商業高等専修学校)

▽200<sup>㉚</sup>決勝=①石川祐奈(生蘭高等専修学校)②野村美綺(同)③岡島萌季(同)

▽400<sup>㉚</sup>決勝=①石川祐奈(生蘭高等専修学校)②野村美綺(同)③丹波琴美(同)

▽800<sup>㉚</sup>決勝=①野村美綺(生蘭高等専修学校)②神山里奈(大和商業高等専修学校)③奥山叡子(大竹高等専修学校)

▽1500<sup>㉚</sup>決勝=①神山里奈(大和商業高等専修学校)②奥山叡子(大竹高等専修学校)③丹波琴美(生蘭高等専修学校)

▽4×100<sup>㉚</sup>リレー決勝=①生蘭高等専修学校▽走り高跳び=①山本珠里華(大竹高等専修学校)②本田愛(大和商業高等専修学校)③山本珠里華(大竹高等専修学校)③本田愛(大和商業高等専修学校)

▽砲丸投げ=①西中舞(生蘭高等専修学校)

## 平成 25 年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助 @…生徒一人あたり	設備費補助	生徒への助成	授業料軽減	本会 会員校数	H24 高等課程 生徒数	H24 高等学校 助成状況
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @62,139 円 その他学校法人立 @39,267 円		○		5	1,303	340,757
青 森	学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @27,196 円 非学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @12,299 円			○		204	316,384
岩 手	学校法人立 @35,960 円				3	129	331,565
☆ 宮 城	学校法人立指定校 1校 60万円と @31,411 円 その他学校法人立 @19,535 円				1	69	311,366
秋 田	学校法人立 @34,680 円		○		1	91	319,944
☆ 山 形	学校法人立指定校・技能連携校 @70,399 円 学立以外 @10,590 円			○	3	50	342,165
福 島	学校法人立指定校 @45,000 円 その他学校法人立 @22,000 円 非学校法人立指定校 @15,000 円 その他非学校法人立 @ 7,300 円			○	7	883	343,546
☆ 茨 城	学校法人立 @55,000 円		○		1	628	330,843
栃 木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 41,957千 円				3	514	312,500
群 馬	学校法人立・財団法人立指定校 @79,070 円 学校法人立・財団法人立非指定校 @19,710 円				2	262	347,098
☆ 埼 玉	法人立 @75,030 円			○	3	739	274,059
☆ 千 葉	学校法人立 @164,115 円		○	○	4	813	324,258
☆ 東 京	学校法人立 @155,300 円 非学校法人立 @51,700 円 私立専修学校障害児教育事業費補助金(1) @392,000 円		○	○	33	3,167	372,461
神奈川	学校法人立 @120,318 円 非学校法人立 @20,900 円			○	7	1,959	288,335
☆ 新 潟	学校法人立 @20,700 円		○	○		121	327,198
富 山	知事特認校加算 350万 円 学校法人立 1校 100万 円 学生生徒割（専修学校総額） 470万 円	○	○		1	171	340,029
石 川	学校法人立指定校・非指定校含む @27,100 円	○				91	346,114
福 井	学校法人立指定校 @45,000 円	○		○	2	122	337,037
山 梨	学校法人立（県内生） 1校 50万円と @ 4,000 円 学校法人立（県外生） 1校 50万円と @ 2,000 円					86	338,560
長 野	学校法人立 @46,440 円				2	215	310,454
☆ 岐 阜	学校法人立技能連携校 @58,858 円		○	○	6	853	335,744
☆ 静 岡	学校法人立 @87,710 円	○	○		11	1,433	347,858
愛 知	学校法人立 @130,200 円 非学校法人立 1校 978,600 円		○	○	25	6,965	303,520
☆ 三 重	学校法人立指定校 1校 15万円と @27,950 円 学校法人立非指定校 @18,580 円 個人立 1校 23万 円		○	○	1	681	315,585
滋 賀	学校法人立技能連携校 @80,000 円		○		1	91	318,000
京 都	学校法人立（修業年限3年以上） 1校 270万 円 学校法人立（修業年限3年未満） 1校 230万 円 複数学科加算分 1学科 55万 円	○		○	1	719	335,078
☆ 大 阪	学校法人立 @277,650 円		○	○	23	4,788	273,240
兵 庫	学校法人立指定校 @155,000 円			○	17	1,642	339,417
奈 良	学校法人立 1校 150万と @34,000 円			○	9	503	320,500
和歌山	学校法人立 @30,000 円	○				99	328,030
鳥 取	（専修学校全体）16校 総額 1,499万5千 円 （そのうち、技能教育施設）4校 総額 8,475万3千 円			○	5	254	466,569
島 根	学校法人立指定校 @98,756 円 学校法人立非指定校 @23,913 円	○		○		141	299,034
岡 山	学校法人立	○			3	254	297,185
広 島	学校法人立（3年制） @36,000 円			○	5	1,455	340,762
山 口	学校法人立指定校 @70,000 円				1	671	337,500
徳 島			○		1	203	328,739
香 川			○			205	322,668
愛 媛						270	310,258
高 知	学校法人立 @21,160 円			○	2	68	322,258
福 岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○		3	2,830	335,428
佐 賀	学校法人立 @11,262 円		○		3	764	344,033
長 崎	学校法人立 @6,300 円					491	336,878
熊 本	学校法人立指定校 @15,000 円		○		5	879	316,742
大 分						448	320,024
宮 崎	学校法人立 @183,785 円	○	○		2	574	309,114
鹿児島	（学校法人立専修学校全体） 総額 3,322万1千 円				3	133	320,274
沖 縄	学校法人立指定校 @ 7,000 円				2	667	314,260

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

H25 会員校数  
207H24 生徒数  
39,698全国平均額  
327,519

発行：全国高等専修学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25（私学会館別館）  
TEL.03(3230)4814 FAX.03(3230)2688